

concept

愛媛県松山市の閑静な住宅街に佇むシンボリックな外観の建築物。直線を基調としたこの建築物に、エクステリア計画も素直に従うことにした。ただそれでは硬すぎる。少し反抗して動きのある樹木や水、それと影を取り入れる。シンプルなベイブに対し、空から影のデザインを落とし込む。アプローチに落ちる格子の影は自ずと来客を導く標となるだろう。重厚感のある壁には、多くの緑を添えて和らげる。硬い壁が良きキャンパスとなる。一度建ててしまえば住宅の骨格は変わらない。それは人を守るという特性上、仕方のないことである。季節を表現する樹木、風に呼応する水、変化する時間に逆らうことなく柔軟に対応する影。変わる愉しみと変わらない安心感。変わることを恐れずに愉しむことができたなら、また新しい景色が見えてくるだろう。家も、人も。



RIK CONTEST 2023

01_{First}

AGE.31

変わるもの 変わらないもの



適度に降り注ぐ影が、
ゆとりの空間を創り出す。



アプローチに主張する影のライン



水辺が生み出す特別感



縦のラインが建物との一体感を演出

非日常的なライトアップが、
日中とは違った顔を魅せる。



リビングから左右に繋がる庭



内外の照明の組合せで連続した空間



落ち着いたある優雅なひと時を

PRODUCTS

- 1. ハンドレール - ジーエムライン
- 2. カーポート - U.スタイル アゼスト セレクトラインタイプ
- 3. サイクルポート - ニューマイリッシュミニ
- 4. テラス - U.スタイル アゼスト セレクトラインタイプ
- 5. ウッドデッキ - ラステラ

